

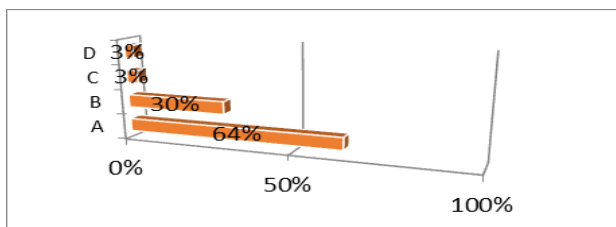
平成30年度 帯広北高等学校

学校評価アンケート(生徒用)

生徒アンケートから見えてくることとその対策

1	<p>明るい学校生活</p> <p>北高では「綱領」に示された3点を目標として、心・技・体バランスのとれた教育活動が行われています。生徒の皆さんは、子どもたちが明るく学校生活を送っていると思いますか。</p>
2	<p>きめ細やかで手厚い指導</p> <p>北高では教職員と生徒との人間的触れ合いを大切に、個に適した成長を促す、きめ細やかで手厚い指導を進めています。生徒の皆さんは、このことが成長として表れていると思いますか。</p>
3	<p>学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業</p> <p>北高では教師として資質向上を目指し、魅力ある授業の実践によって生徒の学ぶ意欲を喚起しています。生徒の皆さんは、このことが成長として表れていると思いますか。</p>
4	<p>挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導</p> <p>北高では「基本的生活習慣の確立」を目指し、生徒と教職員の人間的繋がりと共に共感的指導により挨拶・身嗜み・言葉遣い等の指導に力を入れています。生徒の皆さんは、このことが日常生活に表れていると思いますか。</p>
5	<p>学校からの情報発信</p> <p>北高では学校と保護者の連携を目指し学校での実践や取組等を、「学級だより」「校長室から」「PTAだより」ホームページ等々により積極的な情報発信に努めています。生徒の皆さんは、このことが伝わっていると思いますか。</p>
6	<p>進路意義の向上</p> <p>北高では早期から進路意識の高揚を目指し、進路ガイダンス・セミナー・個人面談等により学年に沿ったキャリア教育を行っています。生徒の皆さんは、このことが成果と表れていると思いますか。</p>
7	<p>幅広い進路希望の実現</p> <p>北高では早期からの進学講習・資格取得・個人指導・模試の実施等によって幅広い進路希望を実現させるため、様々な取り組みを計画的に進め進路指導を行っています。生徒の皆さんは、このことが成果として表れていると思いますか。</p>
8	<p>豊かなクラブ・部活動の展開</p> <p>北高では生徒個々の持ち味を生かし、自主性・主体性を重んじたクラブ・部活動の活性化に努力しています。生徒の皆さんは、このことが生徒の成長に大きな力になっていると思いますか。</p>
9	<p>心のつながり共感的指導</p> <p>北高では「生徒との心のつながり」や共感的な指導によって生徒の「基本的生活習慣」の確立や「自主性・自立性」の育成を行い、悩み等の課題解決を進めています。生徒の皆さんは、このことが進められていると思いますか。</p>
10	<p>施設設備の充実</p> <p>北高では新設当時から年数を経てきた校舎やグラウンドの施設・設備について、緊急性を要するところからその整備に努めています。生徒の皆さんは、そのことが伝わって来ていると思いますか。</p>

A 思う B どちらかといえば思う C どちらかといえば思わない D 思わない



1 明るい学校生活

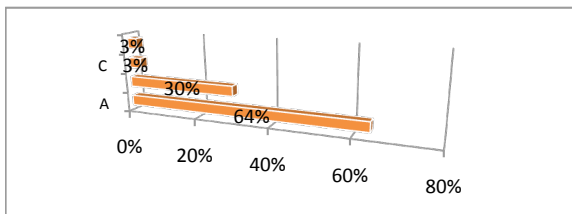
課題

「綱領」に示された「1、英知を磨き実践力を培う」「2、徳性を養い品格の向上に努める」「3、和を愛し健康な心身を錬成する」を目標とし、明るい学校生活の基盤が形成されていると考えている生徒が90%を超える。そのことが生徒にとって現在の北高での学校生活を誇りとしていると考える。

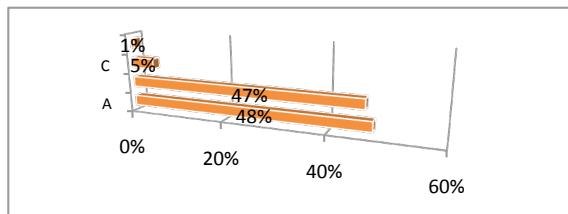
対策

北高が誇りある母校として伝統を守り、信念をもって、時代即した「愛と夢と希望あふれる学校」として存続するよう、生徒とともに築き上げなければならない。具体目標を示しながら...

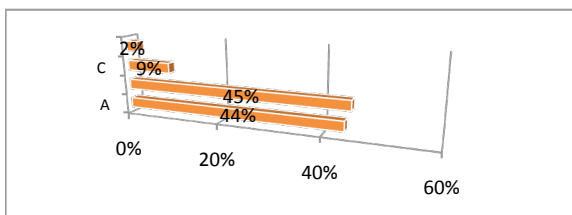
1年生



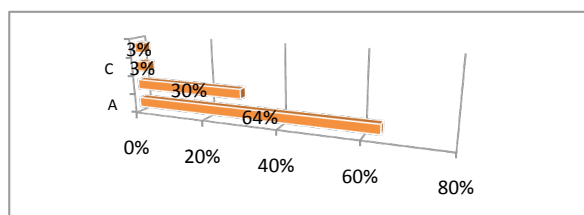
2年生



3年生



全体



2 きめ細やかで手厚い指導

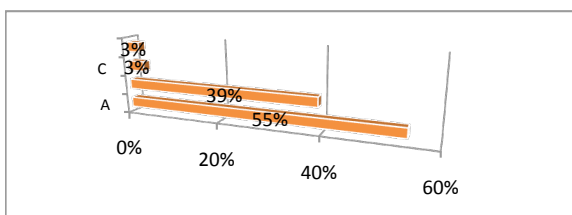
課題

生徒の目には入学した時点で、教職員に対しては、きめ細やかで手厚い指導・人間的触れ合いを受けていると理解しているが、学年が進むにつれそのことが薄れていっている傾向にある。もっともっと関わりを持ち続けていって欲しいとの要望が含まれていることを読み取ってあげたい。

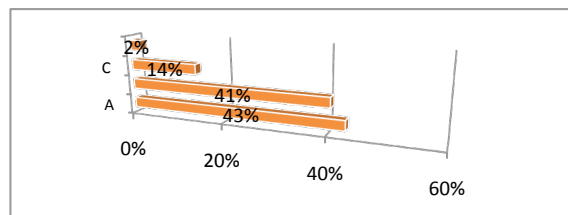
対策

一日の殆どを共に生活している教職員に、人間としての触れ合いを望むことは正常であり、心の中まで入り込み、卒業という段階までそれを大切にする教職員でありたいものである。

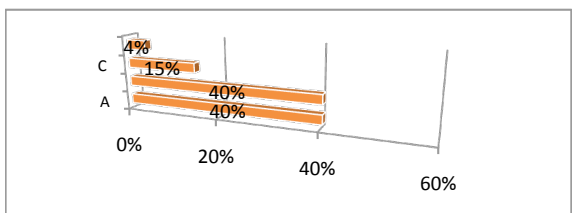
1年生



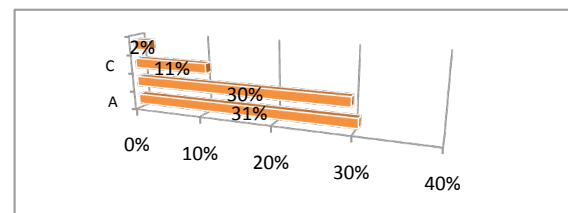
2年生



3年生



全体



3 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業

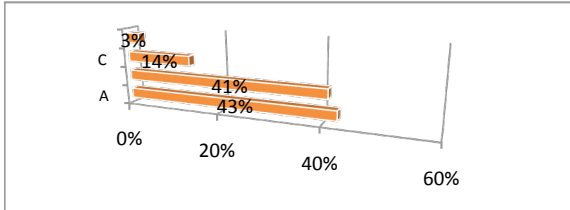
課題

魅力ある授業への満足度はどの学年においてもまだまだ低い。学校改善は授業からと言われるが、使命感を持ってわかる授業への工夫・改善に努めなければならない。「そう思う」との回答が8割～9割をめざしたいものである。

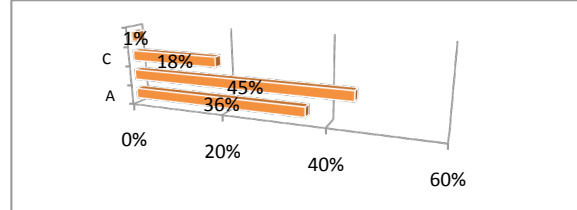
対策

楽しい学校生活は楽しい授業から生まれるものであり、一人一人の教職員が意識し、「楽しくわかる」授業の創意工夫に努めなければならない。研修・研究に努力しよう。

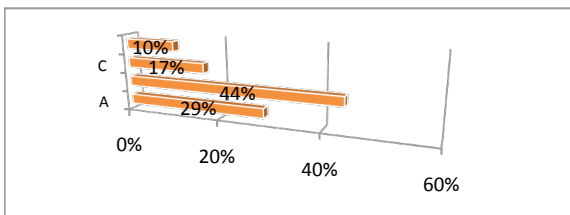
1年生



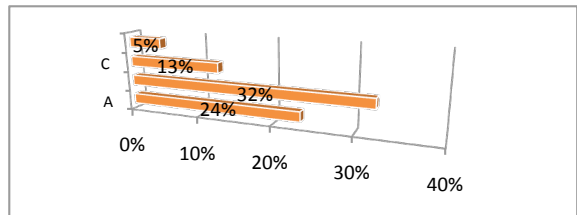
2年生



3年生



全体



4 挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導

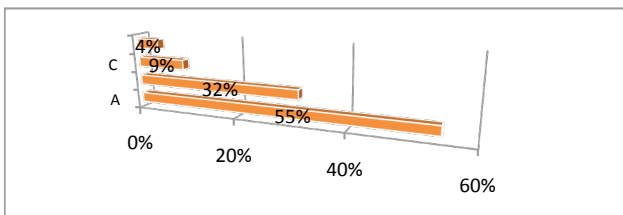
課題

生徒の9割近くが肯定的で、学校全体での取り組みについて評価している。社会人となるために必要な、挨拶・身だしなみ・言葉遣いについて場面に応じた意識向上を目指すことでさらなる高評価を得ることが出来ると考える。

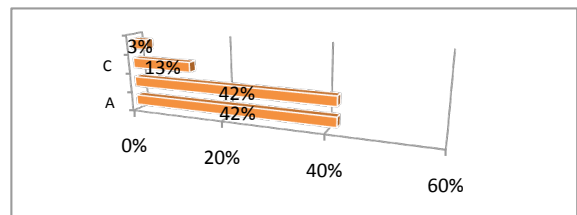
対策

生徒の9割近くが肯定的で、学校全体での取り組みについて評価している。社会人となるために必要な、挨拶・身だしなみ・言葉遣いについて場面に応じた意識向上を目指すことでさらなる高評価を得ることが出来ると考える。

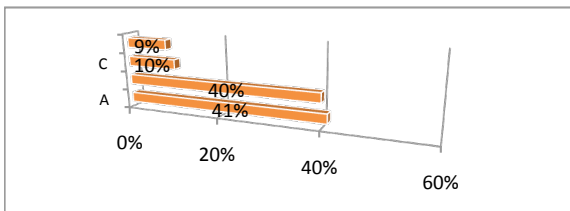
1年生



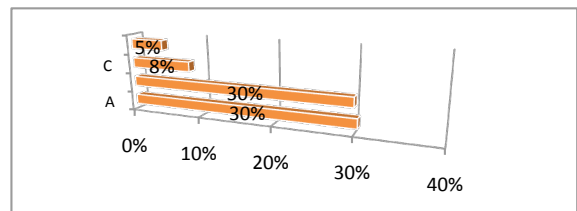
2年生



3年生



全体



5 学校からの情報発信

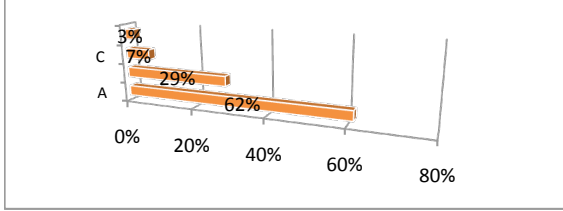
課題

生徒サイドからの不満は少ない。日常のつながり・情報発信が良好であることを感じとれる。生徒から保護者へ、学校から直接保護者への発信がスムーズに行われていないことを保護者のアンケートと比較して感じる事が出来るので、生徒への指導とともに学校ホームページ等の充実を考えたい。

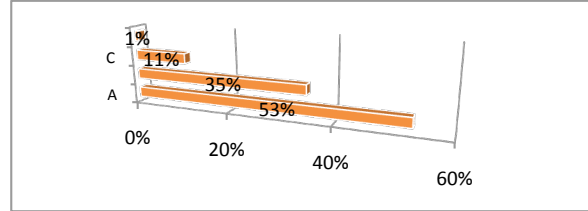
対策

決して情報発信がなされていないわけではなく、その伝達が上手く保護者まで伝わっていないと考える。今後は、インターネットを利用したホームページの充実、インスタグラム等での情報発信を大切にしたい。

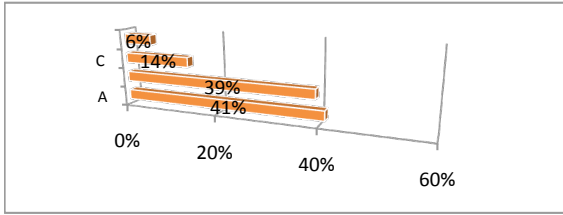
1年生



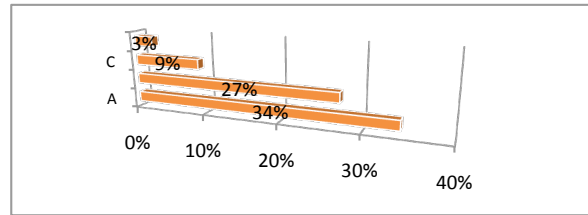
2年生



3年生



全体



6 進路意義の向上

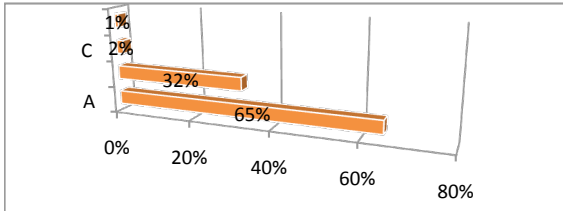
課題

学校として早期からの取り組んでいることの意義を生徒は理解しつつも、学年が進み、自己の現実的課題に直面した時気づくことが多く、さらなる指導の充実を求めているのではないかと考える。進路ガイダンス・セミナー・個人面談等、学年に沿ったキャリア教育の充実が求められる。

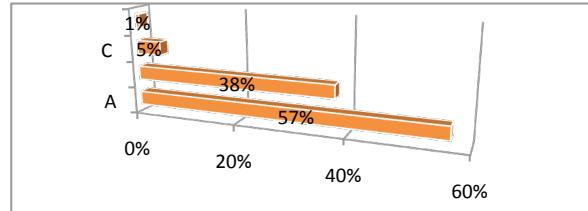
対策

学年毎のキャリア教育の内容を見直すとともに、指導の徹底を図り、保護者への理解度を増すためにも、きめ細かな面談が必要になる。「総合的探究の時間」を有効に使った展開も方策の一つと考える。

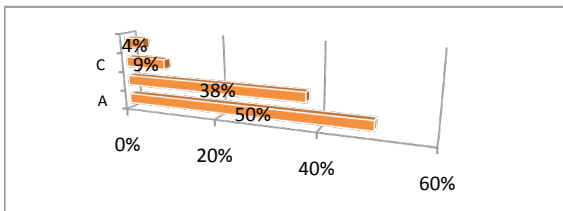
1年生



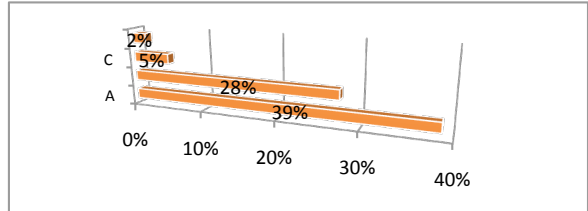
2年生



3年生



全体



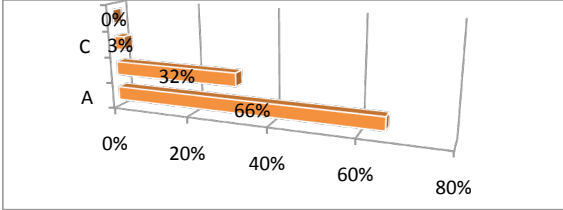
課題

生徒は、幅広い進路希望実現に向けた取り組みに対しても高く評価している。入学時からの自己目標に向かって努力している姿も教職員の指導が徹底しているが故の現象であり、自信をもって充実させていきたいと考える。自己目標を早期に持たせ、その目標達成までの方法を追求することが重要。

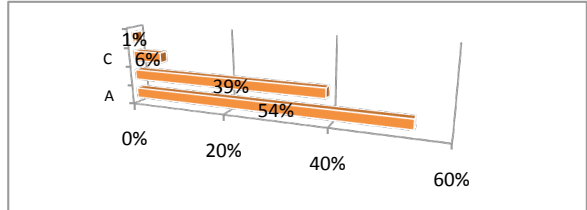
対策

夢を語り、夢に向かって努力する生徒を大切に、叱咤激励する中で、生徒は自己の未来を見つめそのために必要な講習・資格・模試等々に挑戦し、道を開くことを学ばせていくことが大切である。

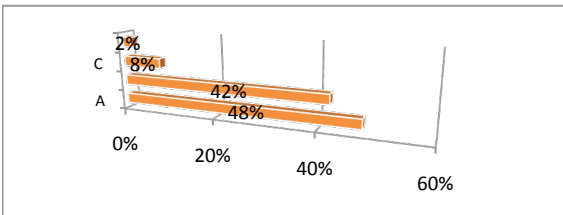
1年生



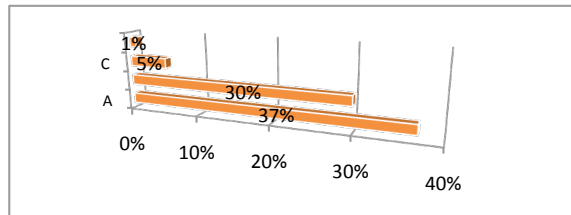
2年生



3年生



全体



8 豊かなクラブ・部活動の展開

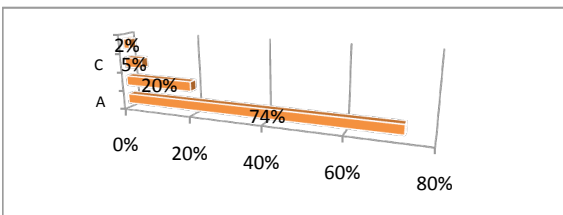
課題

豊かなクラブ・部活動の展開に対し本校生徒は満足度が高いことが見える。中学生時代から憧れの一つとして本校を選択する一因ともなり、3年間を通し伸び伸びと活動できているからであろう。オープンスクール・部活動公開等の機会を通し、本校の姿を見て入学してきた者も多く、それに応える活動展開をしているからと考える。今後、さらに中学校との交流・連携を強化し、入学前のPRに努めなければならない。

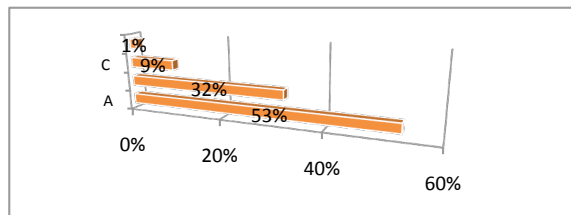
対策

クラブ・部活の活躍は目に見えて学校のアピールポイントが高い。その活動に力を注いでくれている教職員には深く感謝する。少子化による生徒数減少が続く中、いかに生徒を呼び込むか大きな課題であるが、中学校との交流・交流を計画的・継続的に推進する。

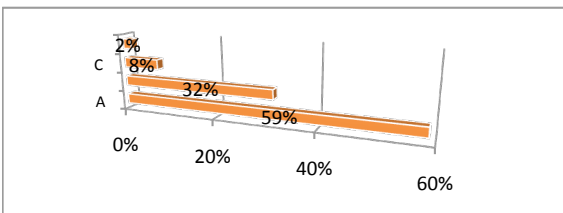
1年生



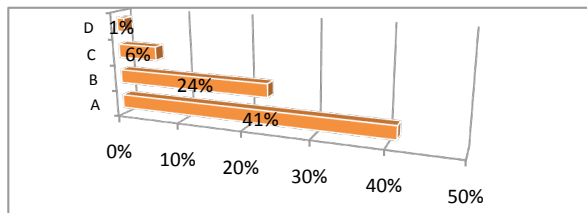
2年生



3年生



全体



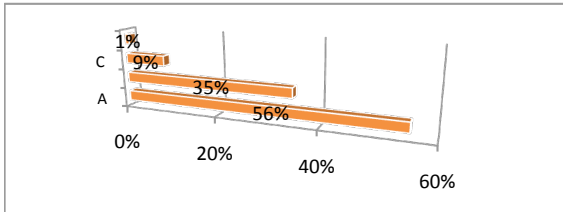
課題

学年が進むにつれ共感的指導を求める生徒の増加傾向が見られる。3年間を通し生徒それぞれの個性を見取り、それに合うように決して見捨てることなく「基本的習慣の確立」や「自主性・自立性」を高めるよう、教職員一丸となって生徒の声に耳を傾ける体制を維持することが大切であり、悩み・苦しみを共感し、指導に当たることを大切にしたい。

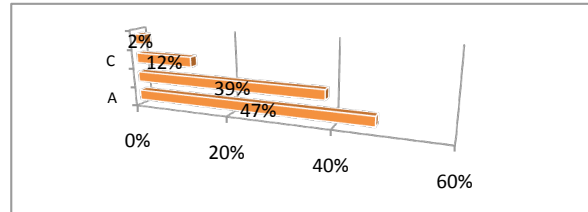
対策

学校としての機能を最大限に生かすことは「共感的指導に徹することである」と考える。それが教育者としての役割であり、教師本来の姿である。成長の裏側には必ず、悩み・苦しみが存在する。その時こそ教師の役割を十分に果たすことをお互い自覚したい。

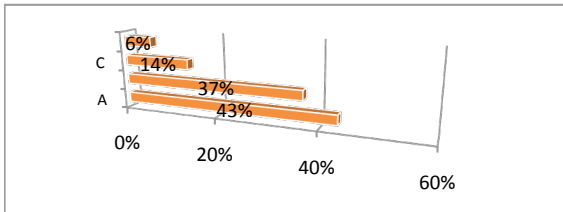
1年生



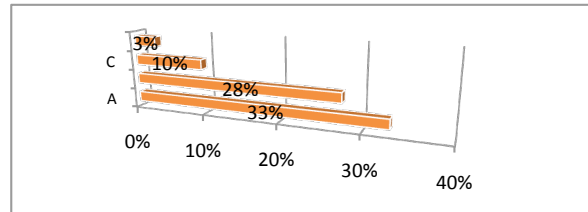
2年生



3年生



全体



10 施設設備の充実

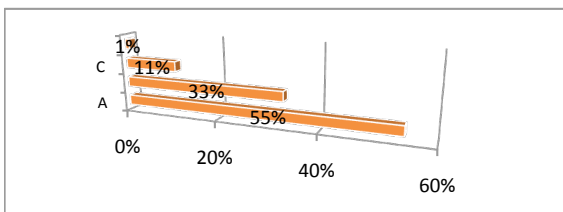
課題

毎日の学校生活を通し、保護者より施設設備の変化に気づき、学校側の努力を冷静に評価してくれているように感じる。年数を経てきた校舎やその周辺において緊急性に応じた整備を行っていることを感じてくれていることは大変うれしい、まだまだ改善の余地があることも指摘されている数字から読み取ることができる。

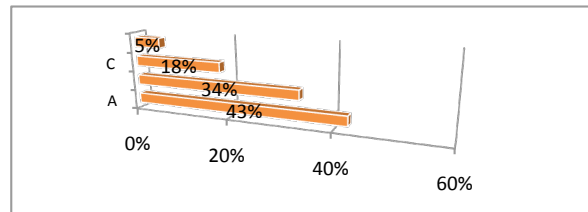
対策

生徒のため、学習環境を整え、活動場を整備し学校としての機能を発揮するためにも、施設設備の整備は欠かせない。そのためにも生徒の要望・教職員の総意をまとめ、整備優先順位をはっきりさせた上で取り組むことを考えなければならない。

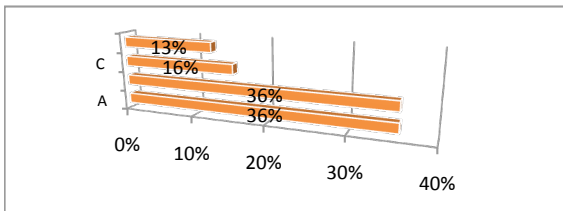
1年生



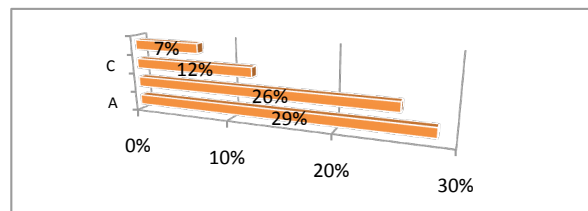
2年生



3年生



全体



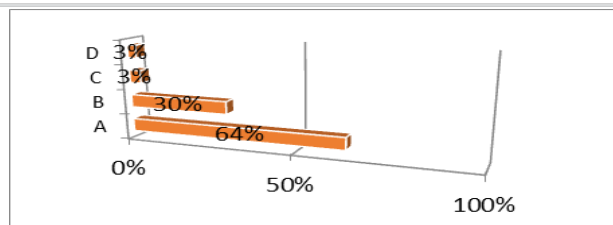
平成30年度 帯広北高等学校

学校評価アンケート(保護者用)

保護者アンケートから見えてくることとその対策

1	<p>明るい学校生活</p> <p>本校では「綱領」に示された3点を目標として、心・技・体バランスのとれた教育活動が行われています。保護者の皆様は、子どもたちが明るく学校生活を送っていると思いますか。</p>
2	<p>きめ細やかで手厚い指導</p> <p>本校では教職員と生徒との人間的触れ合いを大切に個に適した成長を促す、きめ細やかで手厚い指導を進めています。保護者の皆様は、このことが成長として表れていると思いますか。</p>
3	<p>学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業</p> <p>本校では教師として資質向上を目指し、魅力ある授業の実践によって生徒の学ぶ意欲を喚起しています。保護者の皆様は、このことが成長として表れていると思いますか。</p>
4	<p>挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導</p> <p>本校では「基本的な生活習慣の確立」を目指し、生徒と教職員の人間的繋がりと共に共感的指導により挨拶・身嗜み・言葉遣い等の指導に力を入れています。保護者の皆様は、このことが日常生活に表れていると思いますか。</p>
5	<p>学校からの情報発信</p> <p>本校では学校と保護者の連携を目指し学校での実践や取組等を、「学級だより」「校長室から」「PTAだより」ホームページ等々により積極的な情報発信に努めています。保護者の皆様は、このことが伝わっていると思いますか。</p>
6	<p>進路意義の向上</p> <p>本校では早期から進路意識の高揚を目指し、進路ガイダンス・セミナー・個人面談等により学年に沿ったキャリア教育を行っています。保護者の皆様は、このことが成果と表れていると思いますか。</p>
7	<p>幅広い進路希望の実現</p> <p>本校では早期からの進学講習・資格取得・個人指導・模試の実施等によって幅広い進路希望を実現させるため、様々な取り組みを計画的に進め進路指導を行っています。保護者の皆様は、このことが成果として表れていると思いますか。</p>
8	<p>豊かなクラブ・部活動の展開</p> <p>本校では生徒個々の持ち味を生かし、自主性・主体性を重んじたクラブ・部活動の活性化に努力しています。保護者の皆様は、このことが生徒の成長に大きな力になっていると思いますか。</p>
9	<p>心のつながり共感的指導</p> <p>本校では「生徒との心のつながり」や共感的な指導によって生徒の「基本的な生活習慣」の確立や「自主性・自立性」の育成を行い、悩み等の課題解決を進めています。保護者の皆様は、このことが進められていると思いますか。</p>
10	<p>施設設備の充実</p> <p>本校では新設当時から年数を経てきた校舎やグラウンドの施設・設備について、緊急性を要するところからその整備に努めています。保護者の皆様は、そのことが伝わって来ていると思いますか。</p>

A 思う B どちらかといえば思う C どちらかといえば思わない D 思わない



1 明るい学校生活

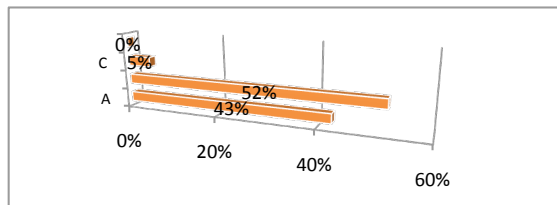
課題

学年が進むにつれ、期待に応えられていないのか保護者全体に不安、不満、疑問が生じていることが数的に見える。しかし、どの学年も90%前後の保護者は本校の指針である綱領に沿った教育活動を生徒の成長の基準とし、明るく学校生活をしていることを評価していただいている。

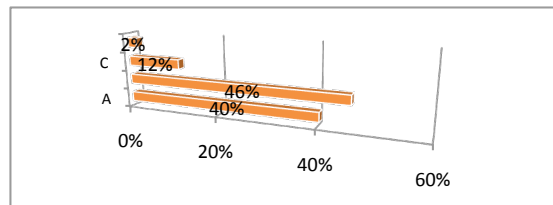
対策

今後も心・技・体のバランスを考え、年度ごとのテーマをしっかりと定めて教育活動を続けていけるよう努力する。

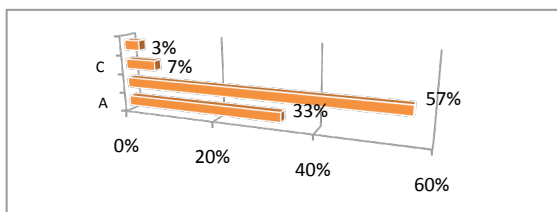
1年生



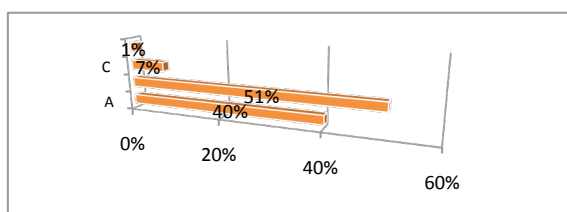
2年生



3年生



全体



2 きめ細やかで手厚い指導

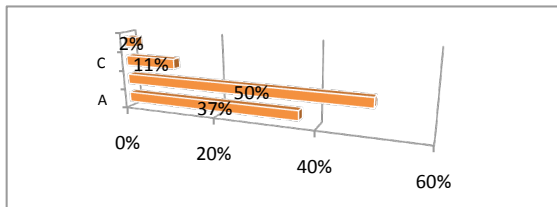
課題

保護者全体が各学年問わず同様の思いがあるようで、10～20%の保護者はもっともときめ細かな指導を求めているようでもあり、さらには、50%前後の保護者は子供の成長にとって大切にしてほしいとの思いがより強いことが数的に表れていると思う。

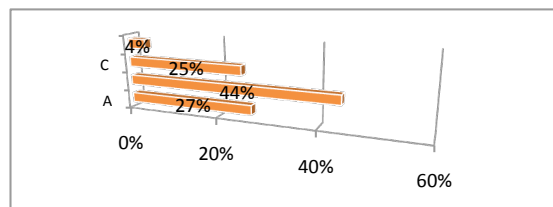
対策

授業やクラスでの触れ合いだけでなく、部活動・特別活動・行事を大いに大切に、よりきめ細かな手厚い指導がゆき届くよう工夫・改善・教職員の協力を惜しまずに行動し、見える形にしなければならないと考える。

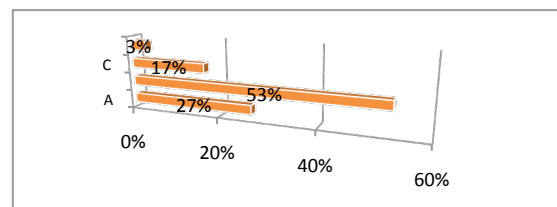
1年生



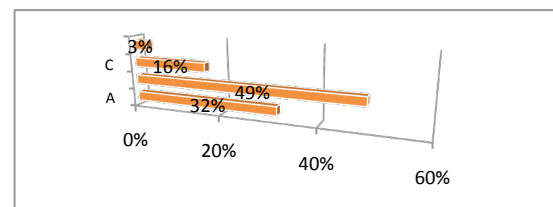
2年生



3年生



全体



3 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業

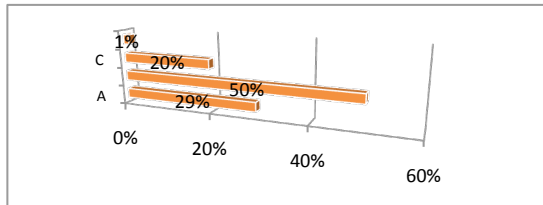
課題

期待を込めた結果であることは明らかであると思うが、20～30%近くの保護者は否定的である。さらには満足度を高く評価してくれた保護者も20～30%と低い傾向が伺える。教育者としての使命で最も大切にしなければならない授業の工夫・改善を全体の課題とし、研究・研修に力を注がなければいけないと考える。

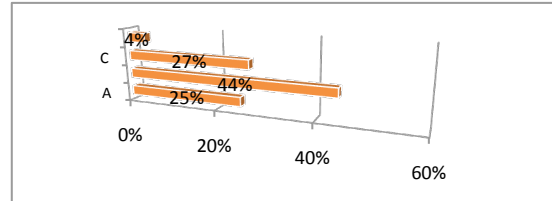
対策

新しい指導要領に沿った・新しい授業のあり方を追求し研修の充実に努め、魅力ある授業の展開を推進することが極めて大きいと思う。

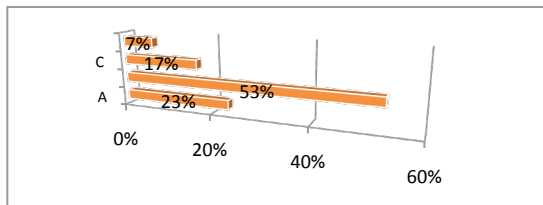
1年生



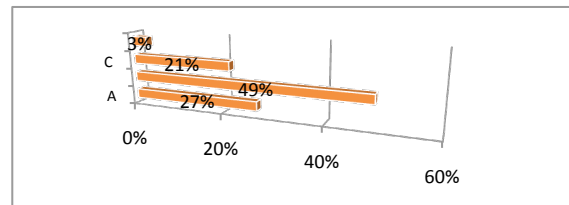
2年生



3年生



全体



4 挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導

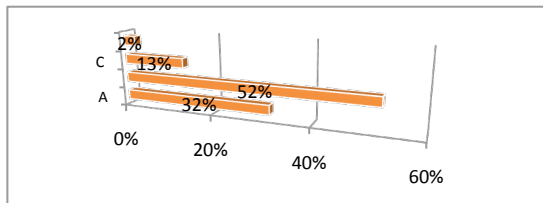
課題

保護者の8割以上が肯定的で学校全体での取り組みについて評価してくれているが同時に2割近くが不満を感じている。当然、小・中と同様に保護者の協力が必要不可欠であるが、教職員各自が意識し、クラス・学年、さらには学年を越えた部活・特別活動等で明るく対応することがこの問題の解決につながるものと考えている。

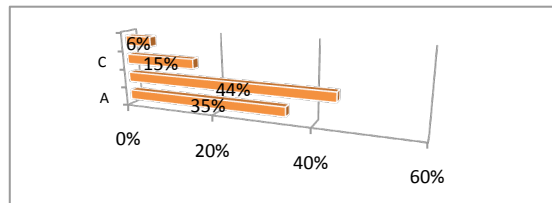
対策

率先垂範・・・教職員として明るくはじめのある行動こそ必要。学校内にとどまらず社会性を養う上からも全校的取り組みに努力することが第一と考える。

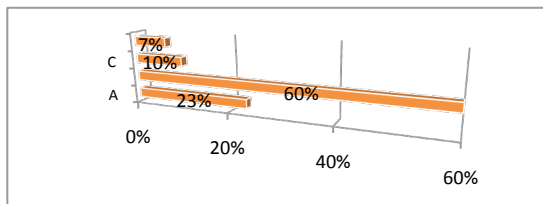
1年生



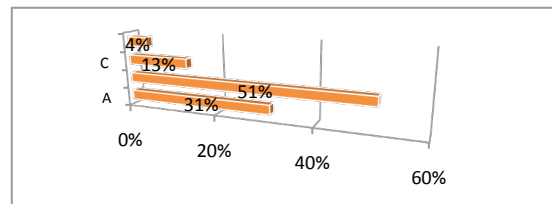
2年生



3年生



全体



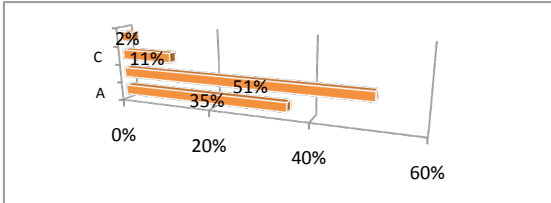
課題

学校で、どんな活動が行われ、何があり、生徒が何を悩み成長しているかをきめ細かにコミュニケーション取ることが求められていて、一方通行では生徒の成長を促すことが出来ないと考える。その点からも更なる情報発信を心がけ「クラスだより」「学年だより」学校のホームページ等インターネットを駆使した情報の提供に努めなければならない。

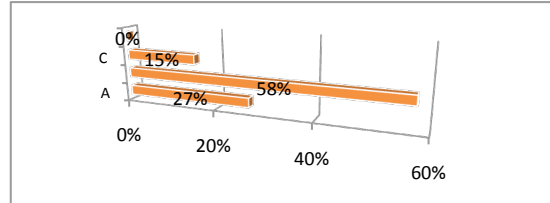
対策

「クラスだより」「学年だより」等の発行回数を増やすとともに、インターネットを通じて学校の動向が見える発信を続けられるよう対策を早急にしなければならない。タイミングを逸することのない発信に心がけ、新たに始められた緊急連絡サイトの運用はその一端であり効果を期待する。

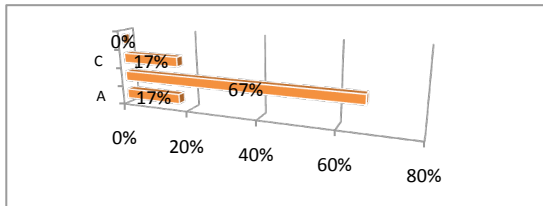
1年生



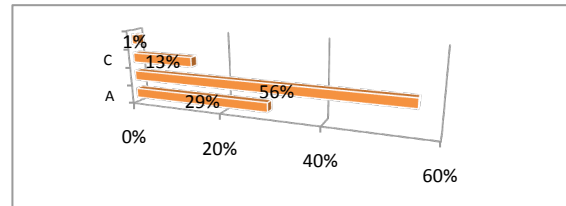
2年生



3年生



全体



6 進路意義の向上

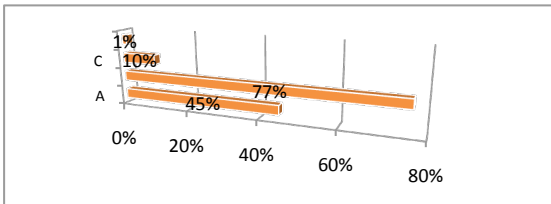
課題

現在進めている本校の取り組みに対し8割近くが肯定的に理解していただいでいて、今後も自信を持ってその取り組みを推進することが望ましいと考えるが、学年が進んだ3学年の保護者には直前の指導にもっと力を注いでほしいとの要望が感じられる。その不安を解消する教職員の努力も必要になるのであろうが、このことも保護者と教職員が課題を共有することが最も必要であらうし、大切にしなければならない。

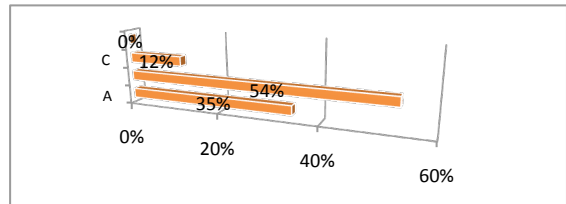
対策

学年が進むにつれ、迫りくる進路の意義徹底が重要視されていく現状から、入学時から面談等でその意義について訴え、理解を深化させることが重要である。生徒には細かな場面設定を行い計画的・段階的指導を系統的におこなっていることを伝え、更なる効果を得たいものである。

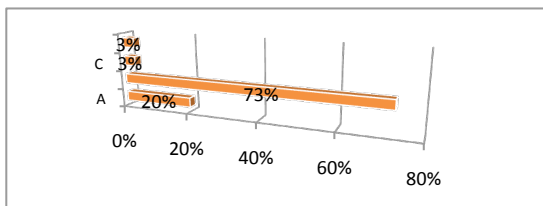
1年生



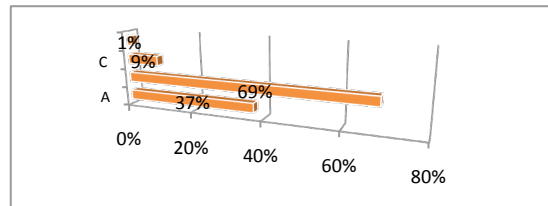
2年生



3年生



全体



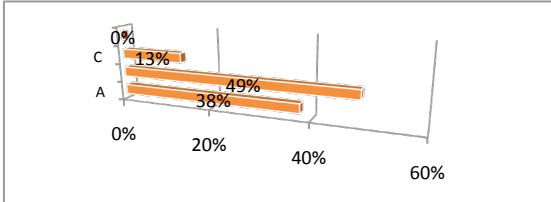
課題

入学する生徒・保護者は本校の過去の実績をある程度参考にしてスタートする。したがって、1・2年生の保護者は極めて理解的評価が数的にみられる。北高の今後のあるべき姿(進路・進学・資格取得を目指す生徒の育成に努めなければならないか)を真剣に考え実現していく方向を見つけ出さねばならぬ時期に来ていることを感じ取りたい。

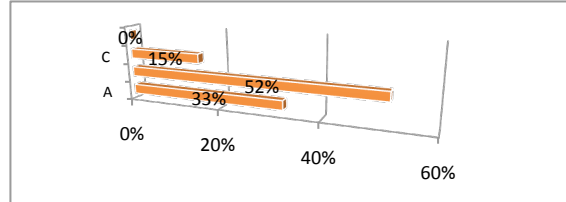
対策

コース別(特進・総合)のあり方を含め北高らしさを創造する上で熟慮しなければならない。新教育課程導入までの短期間で保護者・中学生を巻き込み夢あるビジョンを教職員・経営陣ともに共有することから始められるといいのだが。

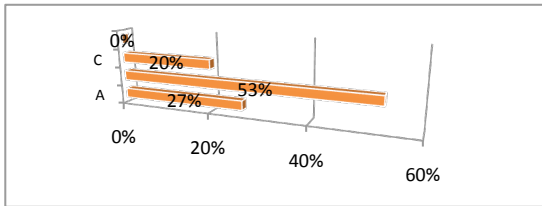
1年生



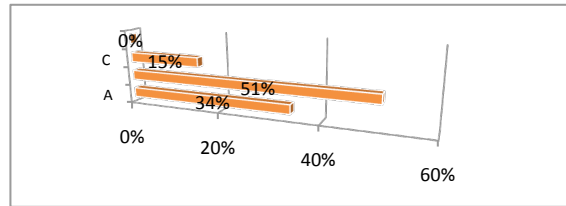
2年生



3年生



全体



8 豊かなクラブ・部活動の展開

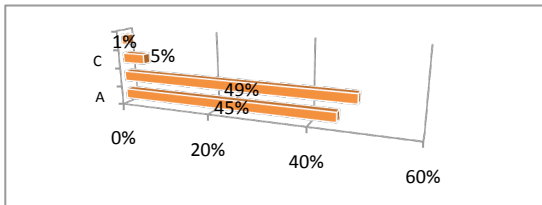
課題

クラブ・部活動の活性化については、運動系ではサッカー・チアリーディングを筆頭に好成績を残しその活躍が大いに定着し評価を得ている。同時に今年度演劇・ブラスバンド等多くの部門での活躍が高く評価されている一因になっていることは明らかである。クラブ・部活動を通して生徒の成長に必要なことが学び取られ、北高の伝統として生きて働くよう、今後も更なる展開をしていかなくてはならないと考える。

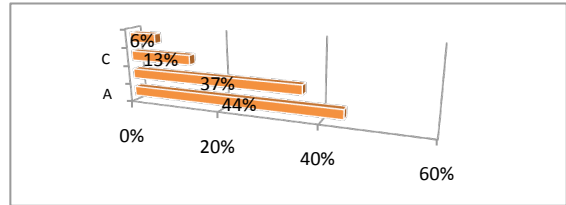
対策

多方面で生徒の活躍が高く評価されていることは本校の特色でもあり、愛されている要因の一つでもある。クラブや部活を通しこの年代を生きる若者に何を学ばせることが必要であるかの認識を持った指導者の存在が最も大切なことであるとの認識の上での指導展開を充実させることが求められると考える。

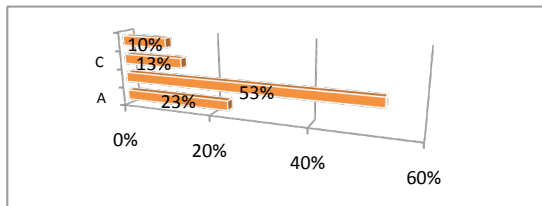
1年生



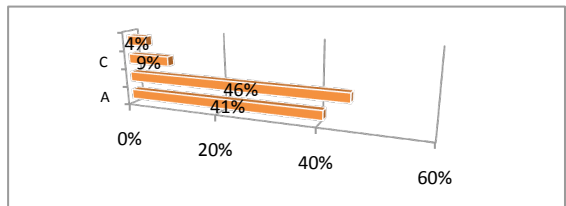
2年生



3年生



全体



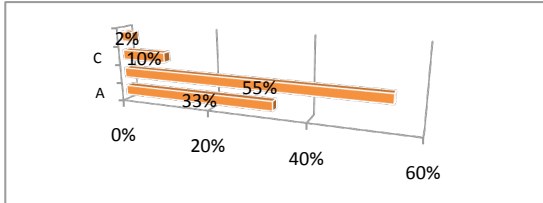
課題

約2～3割弱の保護者以外、もっと積極的に心のつながりを求めているものと考え。共感的な指導による「基本的習慣の確立」や「自立性・自主性」の育成の力を注ぎ、悩み・不安・不登校・いじめ等々の課題解決へマニュアルを越えた温かみのある指導を心がけなければならないことを強く感じる。生徒の目線に高さを合わせ「何を」「どう」「どのような方向で」課題解決に当たるべきかを職員全体で考えたい。

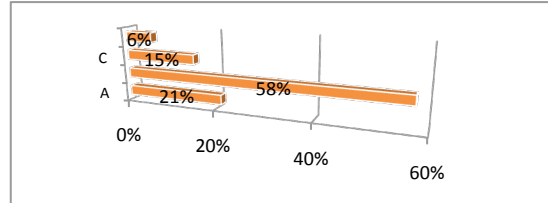
対策

授業のみならず学校生活のベースに心のつながり、共感的指導がなければならない。教育者とは、学問を教えるためだけに存在するものではなく、生徒とともに成長する一人の人間としてあるべき姿を求めて行きたいものである。

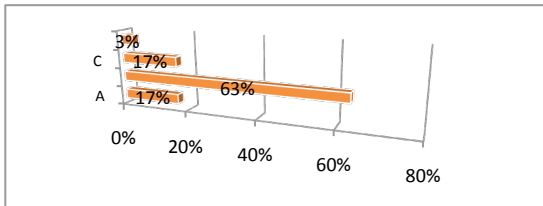
1年生



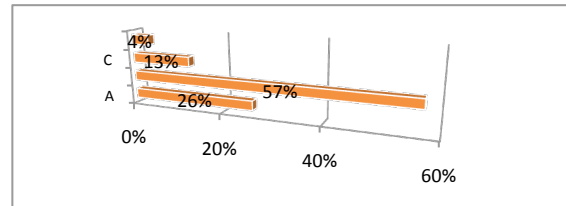
2年生



3年生



全体



10 施設設備の充実

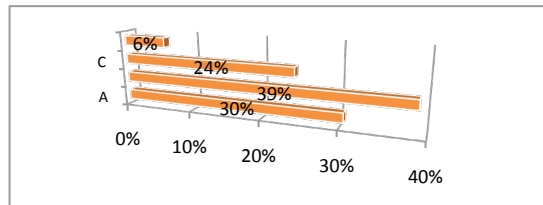
課題

予想通り不満が多いことがわかる。校舎全体が古くなり多くの課題を持ちつつ、来校者から『いつもきれいですね』との評価をいただき心が救われる。今年度は全トイレの様式化、便座ヒート化、網戸の設置、ブロック・体育館壁面の洗浄、校門の修理、カーテンの交換等々大幅に手を加えたところである。経理上の問題も考慮に入れつつ施設整備に関する努力をしていかなければならない。

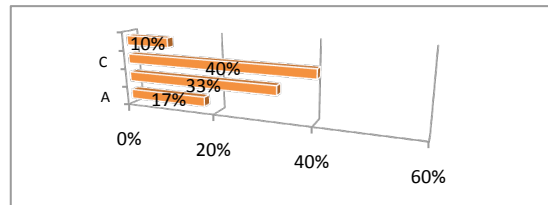
対策

校内LANの更新・LEDライトへの変換・体育館の暖房・グラウンドの整備等々まだまだ整備しなければならないところがある現状であり、緊急性を要するところから計画的に整備するよう努力する。

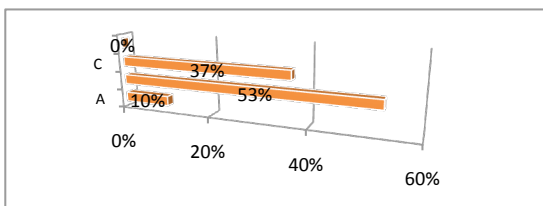
1年生



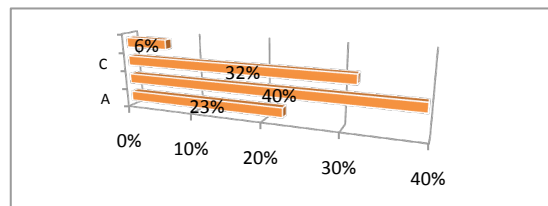
2年生



3年生



全体



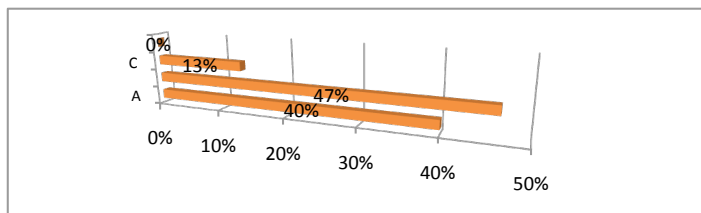
平成30年度 帯広北高等学校

学校評価アンケート(教員用)

教員アンケートから見えてくることとその対策

1	<p>明るい学校生活</p> <p>北高では「綱領」に示された3点を目標として、心・技・体バランスのとれた教育活動が行われています。あなたは教職員としてこのことを意識し、実践していると思いますか。</p>
2	<p>きめ細やかで手厚い指導</p> <p>北高では教職員と生徒との人間的触れ合いを大切にしてい個人に適した成長を促す、きめ細やかで手厚い指導を進めています。あなたは教職員としてこのことを意識し、実践していると思いますか。</p>
3	<p>学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業</p> <p>北高では教師として資質向上を目指し、魅力ある授業の実践によって生徒の学ぶ意欲を喚起しています。あなたは教職員としてこのことを意識した教育活動が行われ、生徒の成長として表れていると思いますか。</p>
4	<p>挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導</p> <p>北高では「基本的な生活習慣の確立」を目指し、生徒と教職員の人間的繋がりや共感的指導により挨拶・身嗜み・言葉遣い等の指導に力を入れています。あなたは、このことが日常生活に表れていると思いますか。</p>
5	<p>学校からの情報発信</p> <p>北高では学校と保護者の連携を目指し学校での実践や取組等を、「学級だより」「校長室から」「PTAだより」ホームページ等々により積極的な情報発信に努めています。あなたは、このことが伝わっていると思いますか。</p>
6	<p>進路意義の向上</p> <p>北高では早期から進路意識の高揚を目指し、進路ガイダンス・セミナー・個人面談等により学年に沿ったキャリア教育を行っています。あなたは教職員としてこのことを意識し、実践していると思いますか。</p>
7	<p>幅広い進路希望の実現</p> <p>北高では早期からの進学講習・資格取得・個人指導・模試の実施等によって幅広い進路希望を実現させるため、様々な取り組みを計画的に進め進路指導を行っています。あなたはこのことが成果として表れていると思いますか。</p>
8	<p>豊かなクラブ・部活動の展開</p> <p>北高では生徒個々の持ち味を生かし、自主性・主体性を重んじたクラブ・部活動の活性化に努めています。このことは教職員の視点から、生徒の成長に大きな力になっていると思いますか。</p>
9	<p>心のつながり共感的指導</p> <p>北高では「生徒との心のつながり」や共感的な指導によって生徒の「基本的な生活習慣」の確立や「自主性・自立性」の育成を行い、悩み等の課題解決を進めています。あなたは教職員として、このことが進められていると思いますか。</p>
10	<p>施設設備の充実</p> <p>北高では新設当時から年数を経てきた校舎やグラウンドの施設・設備について、緊急性を要するところからその整備に努めています。あなたは、そのことが伝わって来ていると思いますか。</p>

A 思う B どちらかといえば思う C どちらかといえば思わない D 思わない



1 明るい学校生活

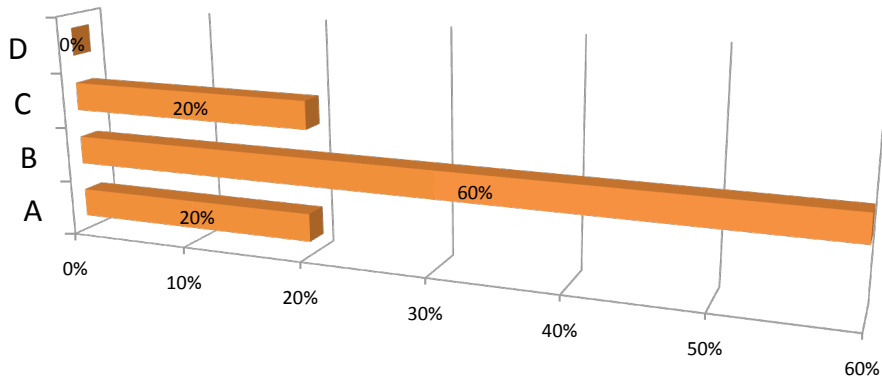
課題

80%の教員が「綱領」の3項目を意識しつつ、本校の教育活動をしていると評価している反面20%が「どちらかといえばそう思わない」と答えたこと。「そう思う」とした教員も同程度であることを残念に思う。

対策

教員自身が綱領に示された内容を理解するとともに、生徒・保護者との感じ方に差を感じる。本校生徒の育成目標であることを徹底し、機会に応じて推進しなければならない。

1 明るい学校生活



2 きめ細やかで手厚い指導

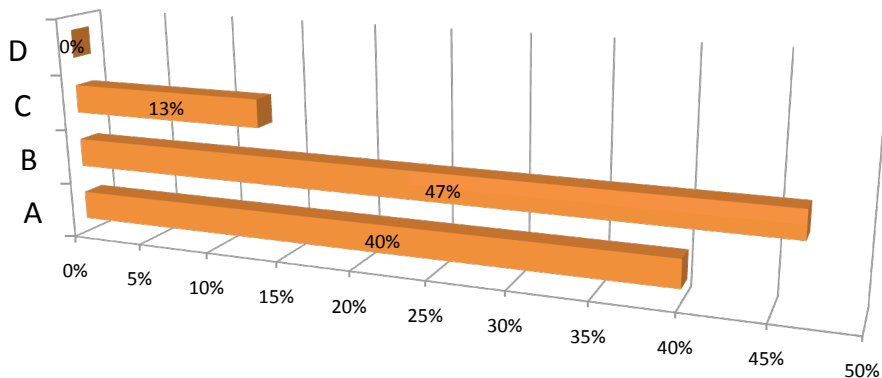
課題

生徒・保護者が感じているのと同傾向として見て取れるが、教師自身が自信をもって「きめ細やかで手厚い指導」を教育者の使命として、そこに主眼を置いた実践をしなければならないと考える。

対策

教育者としての基本姿勢が不足しているのか、あるいはそれぞれが自信を持って指導に当たっているのかどちらかであろうが、自身に「教育者」とは？の問いかけをし「きめ細やかで手厚い指導」を共通認識し活動を推進しなければならない。

2 きめ細やかで手厚い指導



3 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業

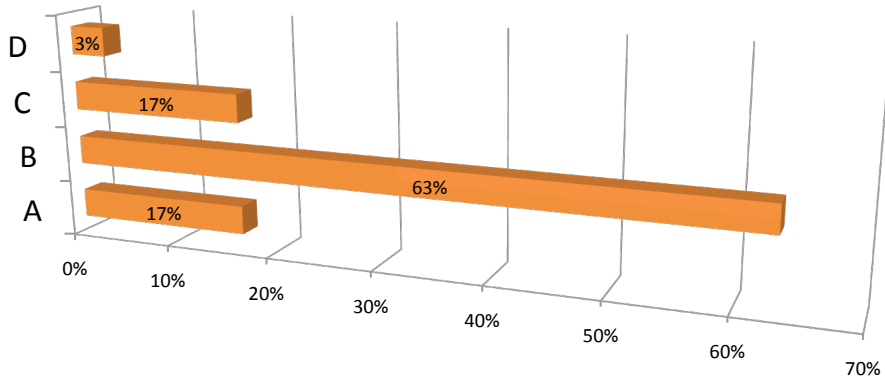
課題

「学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業」の実践について、生徒・保護者と共に同じ傾向を示し「どちらかといえばそう思う」の回答が多い。本来なら「そう思う」が数的に高くなければならぬ項目の一つであり、教師として自信の持てる指導力に期待しなければならないと考える。

対策

とても残念であるが、グラフを見てははっきりしている通り「授業づくり」があまり進んでいないことを物語っていると思う。研修・研究の推進と教師自身のあり方・自覚を促したい。

3 学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業



4 挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導

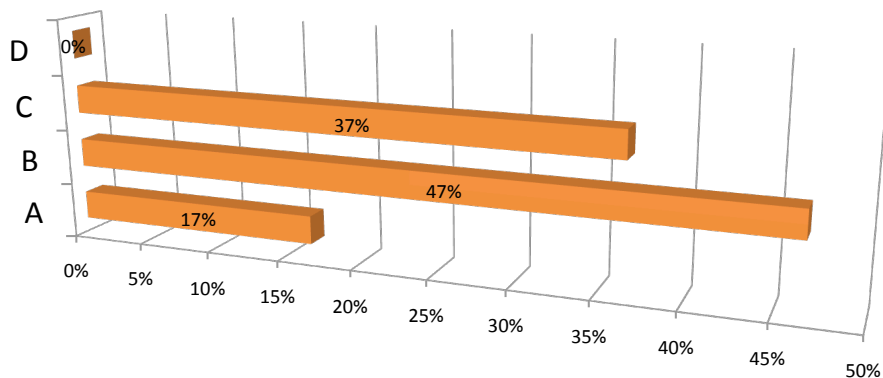
課題

挨拶・身嗜み・言葉遣いの基本は、日頃の教育実践でも大切にしなければならないことであるが、「どちらかといえばそう思わない」が37%と多いことを思うと、日頃の指導面での欠落を感じざるを得ない。

対策

この項目の結果は、生徒指導上の課題として受け止め、学校生活の基本姿勢を育成する重要面であり、各学級・学年・クラブ部活動と活動全般の中で指導の徹底を図ることが必要。教師自ら率先垂範し課題解決の方策を見出したいものである。

4 挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導



5 学校からの情報発信

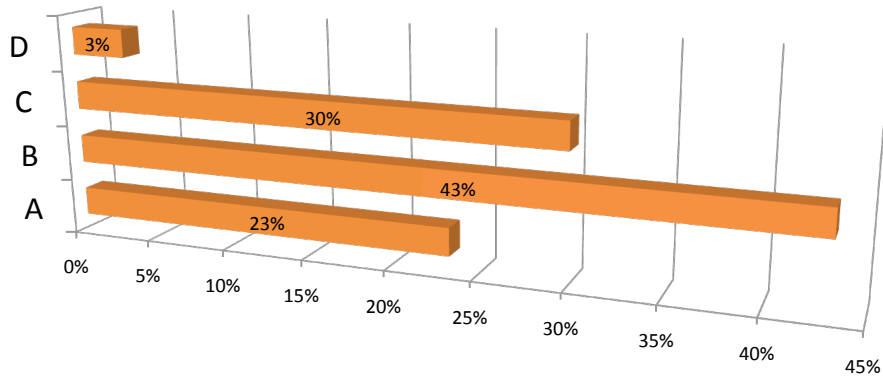
課題

積極的情報発信不足は生徒・保護者両面からの指摘も多い。教師自らが「どちらかといえばそう思わない」と答えられたことは極めて情けない。そう感じた時、そう思った時は自ら発信しよう。

対策

情報発信不足は教師自らが推進しなければ課題の解決につながらないことは明白であり、その方法「…たより」「ホームページ」等の充実を図るべく、学級・学年・分掌での力を発揮して欲しい。

5 学校からの情報発信



6 進路意義の向上

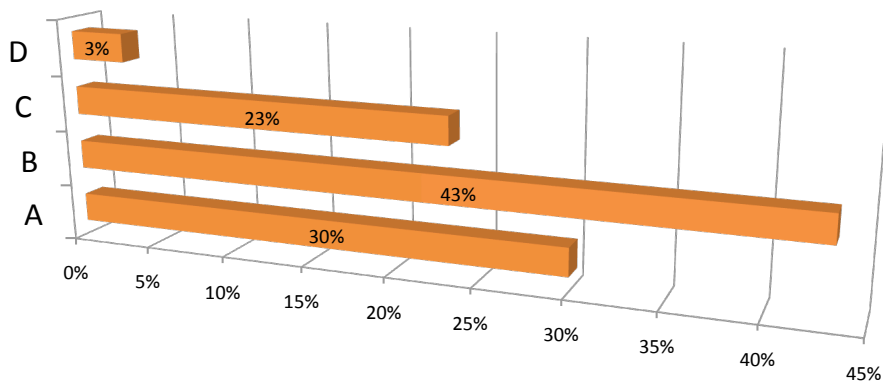
課題

教師自身の中に「どちらかといえば思わない」「そう思わない」と答えた者が26%いるということは、その背景に「何をどのように改善し進路意義の向上に努めるべきなのか？ 多くの考え、アイデアがあるだろうと思う。あるとすれば、それが形として表れていないことがこのグラフの表われであると思う。

対策

進路意義の向上は、特に高校生活の中できちんと実践しなければならない重要なことであり、分掌や教科の枠を超えて論議し、多くの意見を聞き、その中から「今やれること」を整理し、きちんと指導に当たらなければならないと考える。

6 進路意義の向上



7 幅広い進路希望の実現

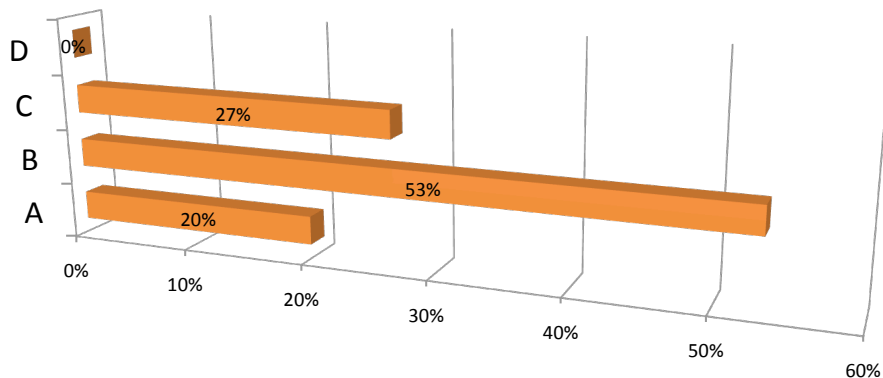
課題

「進路指導の実現に向けた取り組みは」70%以上の肯定的評価を得ていることは価値があるが、生徒・保護者の受け止めとのズレが有ることも感じさせる。もしも、教師間にそれがあれば是正が必要である。

対策

現在本校で実践している「進路希望の実現」に向けた取り組みに問題があるとすれば、全体的批判に終始せず、提案型の意見交換をあらゆる場面でを行い、課題解決に当たることが最も必要であるとする。

7 幅広い進路希望の実現



8 豊かなクラブ・部活動の展開

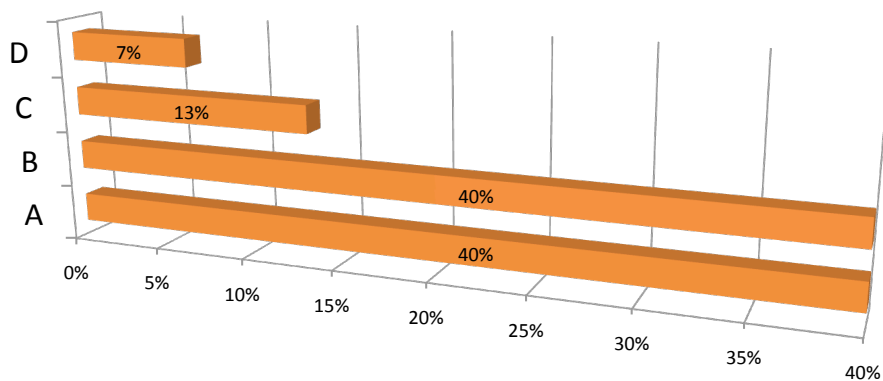
課題

教員自ら高く評価し、本校が大切にしなければならない一面であることを読み取ることが出来る。しかし、7%は「そう思わない」と答えていることにも注目したい。何故なのか具体策を見つけ出すことも必要なのかもしれない。

対策

私学である本校として大切な一面であること自覚し、自信をもって推進するためにも約20%の先生方が感じている課題が、どういう意味を持っているのか考察し、課題解決に臨まなければならないとする。

8 豊かなクラブ・部活動の展開

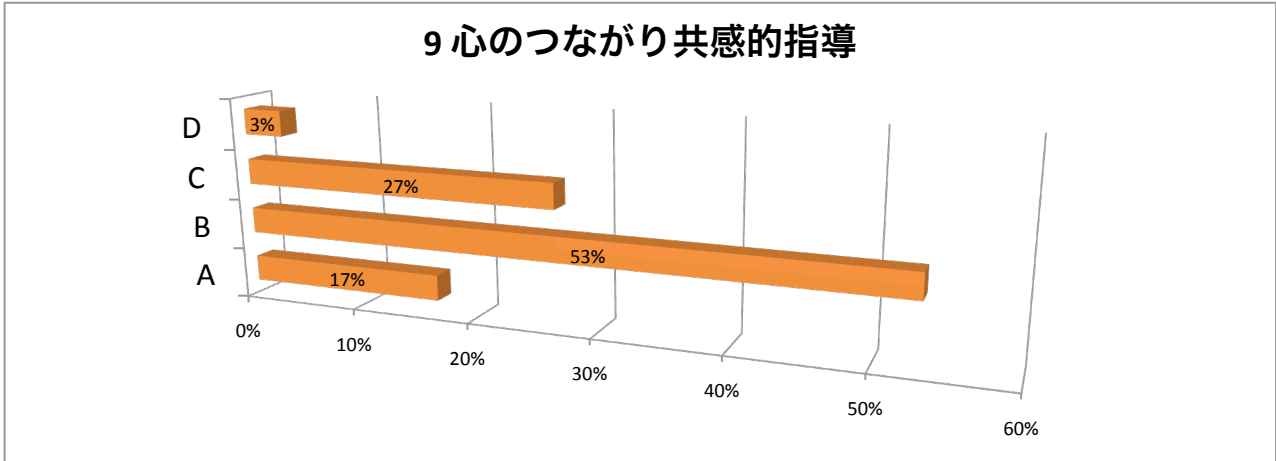


課題

「心のつながりや共感的指導」に欠けていると否定的に捉えている先生が約30%いることには少々驚いている。教師・教育者である者は、生徒・保護者とつながりや、共感的姿勢を持ちつつその責を果たさなければならない。ある意味「教育者」としての姿勢を疑われてもしかたないと考えざるを得ない。

対策

本校で育成する「基本的生活習慣」「自主性・自律性」は、生徒を育てる教育の場である学校では欠くことのできないものとする。生徒の悩み・課題解決をサポートするのは教師としての基本的役割であり、「心のつながり」「共感的指導」の重要性を全教員で共有したい。



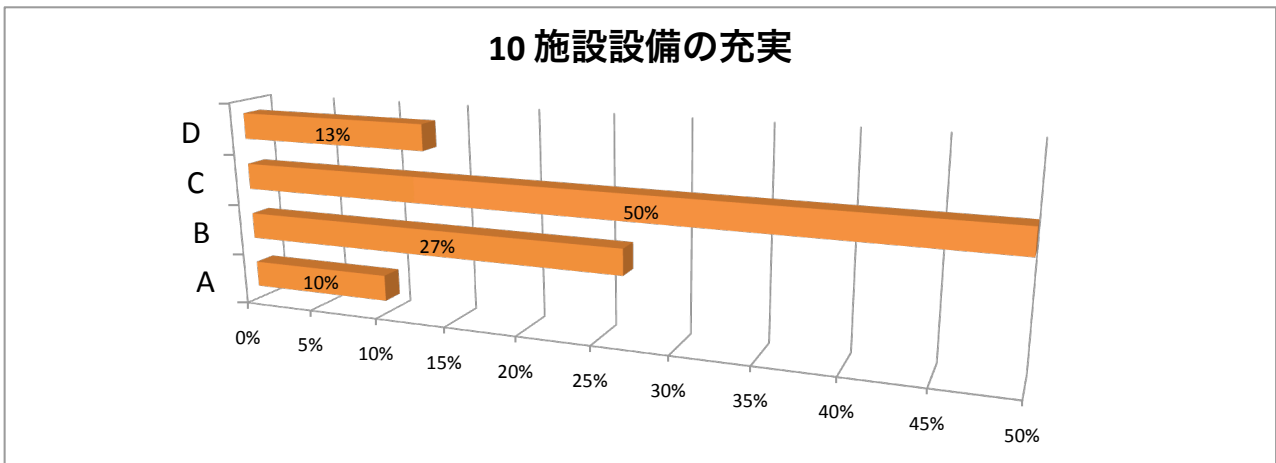
10 施設設備の充実

課題

施設設備の充実について、現場で実感し働く教員にとって、大きな不満があることが見える。生徒・保護者の捉え方と、かなりの差があるが、声を上げなければ経営サイドになかなか伝わらないことも、今まで積み残してきている課題が多いことも理解してもらいつつ、乗り切らなければならないことと考える。

対策

施設整備の充実が、現場で働く者にとって実感できるようになるよう、経営サイドを動かし、緊急性・優先順位をつけた上で充実に当たりたい。



帯北を拓く

平成31年2月28日 発行 (通算33号)

帯広北高等学校長 奥野 淳一

例年になく降雪量の少ない穏やかな2月が過ぎましたが、僅かながらではありますがここ北国にも春の訪れを感じ始める時期となりました。このまま降雪の少ない冬が早く終わればいいなあと思っているのは私のみではないと思います。3年生はそれぞれの進路を決定し期待と不安の毎日であろうし、1・2年生は進級認定試験や学年末に向けての取り組みをしているところです。私も昨年4月に本校に着任し、まもなく1年を経過することとなりました。この1年、保護者の皆さま方の多大なるお力に支えられながら何とか次のステップに歩み出すことが出来そうです。このことにまずもって感謝とお礼を申し上げます。私学としてのあり方、今後の方向性についても、理事長はじめ理事の方々とは何度も何度も語り合いながら、現実的課題に取り組み、北高らしさを求め、教職員とともに教育活動を推進してまいりました。部活動でも全道・全国大会出場など生徒の活気ある姿を多くの場面を通じて感じて来ました。昨年末に学校評価アンケートを実施し、生徒・保護者から見た北高、そして教職員という立場から見た北高の姿を評価していただきました。

今年度は、アンケートの視点・内容を昨年度までと違った形で表現し、10項目に絞って具体的課題を見つけ出すことに主眼を置いたつもりです。アンケートにご協力いただいた保護者の皆さまには心より感謝申し上げます。

1、明るい学校生活（綱領に示された本校の目標を意識しつつ楽しく学校生活が出来ているか）

生徒・保護者は80～90%肯定的で子どもたちが楽しく学校生活を送っていると評価してくれました。一方、教員の20%近くは、期待が含まれていることと理解しますが、まだまだ理想的な状態でないと評価しています。教職員が一丸となりその差異を埋めることに努力していかなければならないと考えています。

2、きめ細やかで手厚い指導（個を大切に、人間的ふれあいの中で教育活動が行われているか）

生徒・保護者・教職員そろって約80%以上が肯定的で本校の教育活動において、人間的ふれあいを大切に活動が行われていると評価してくれました。学校と保護者をつなぐ生徒にもそう感じてもらい、あらゆる場面を通じて応えていかなければならない点であることを共通認識し、更なる高みを求め努力していこうと思います。

3、学ぶ意欲を生み出す魅力ある授業（わかりやすく・ていねいな指導が基本となった授業が展開されているか）

学年が高くなるほどにその受け止め方に差異が生まれています。しかし生徒にとっては比較的「分かる授業」の展開が評価されている点は嬉しい面でもあります。一方教師としては「まだまだ・・・」「創意工夫の授業・わかる授業」への研修・研究不足の感があると同時に努力不足を指摘していることを読み取ることが出来ます。個に応じた魅力ある授業は、学校教育の基本であることを肝に銘じ教職員が一丸となって努力していかなければならないと考えさせられています。

4、挨拶・身嗜み・言葉遣いの指導（基本的習慣の確立に向けた取り組みが出来ているかどうか）

保護者は80%、生徒・教職員は60%近くが肯定的に評価していただいておりますが、学校内生活を通して感じている者ほど不足感が多く、日常の学校生活の中で、学級・学年・特別活動・部活動等で徹底した指導が求められていることを考えさせられます。そのリーダー役として、教職員の意識改革が最大限に発揮されなければならないと考えます。まさに率先垂範の精神をより大切にしなければならぬことを実感します。

5、学校からの情報発信（学校と保護者の連携を目指し情報発信がされているかどうか）

生徒への情報は比較的伝わっている傾向にあるものの、保護者まで伝わっていないことが見られます。発信元である教師の評価においても「不足である」と回答している者が30%近くいることから、見直しが必要な点であります。紙を媒体とした情報伝達だけに頼ることなく、ITを活用した情報発信を充実させ、多面からの連携強化を図ることが求められていると考えます。

6、進路意義の向上（進路意識の高揚を目指すキャリア教育についてどうか）

高校生活3年間を通し大きな意味を持つ項目であり、生徒の回答からは本校の教育活動を通じて理解され、高く評価を得ているが、保護者にまで浸透していない様子が伺えます。教員は大切なことと理解しつつももっと創意工夫した意義の徹底を望んでいるのではないかと予想できます。系統的にしかもわかりやすくその意義を指導する努力を全体のものとしていきたいと考えます。

7、幅広い進路希望の実現（進学講習・資格習得・模試等による計画的進路指導がされているかどうか）

生徒は学校の取り組みにとっても高い評価をしていて肯定的であります。しかし、保護者そして指導の中心である教員からはもっともっと深く入り込んだ指導が必要との意向が受け取られます。生徒が目標とするところ、保護者が臨むところを教員がくみ取り、そのための情報を流すとともに共に考える前向きな進路指導を心がけ、その充実にあたらなければならないと考えます。

8、豊かなクラブ・部活動の展開（個の持ち味を生かし、自主性・主体性を重んじた指導はどうか）

生徒・保護者・教員ともに本校における活動を高く評価しています。私学としての特色ある活動を伝統的に重んじていることが活かされていること、しかも、継続していくことの大切さを読み取ることが出来ます。教員には負担が多く心苦しいところですが、何としても本校の活動の重要面と理解していかなければならないと考えます。

9、心のつながり共感的指導（共感的指導で基本的生活習慣・自主性・自立性を育成しているかどうか）

生徒に寄り添い共感的指導が行われていると高い評価をしたのは生徒であり、保護者・教員は「どちらかといえば思う」と少し消極的な評価が多い。教員と生徒の関係から言うと、とても大切にしなければならぬ指導のスタンスであり。自信を持った指導体制を構築することが重要と考えています。

10、設備整備の充実（教育環境の整備が進んでいるかどうか）

毎日生活している生徒の約70%の生徒は、変化している整備の状況の評価している反面、現場で直接仕事をしている教員からは整備状況に関する要望が極めて多いと読み取れます。具体的現状を早急に把握し、その課題解決のため緊急性のある所から計画的に取り組んでいきたいと思えます。

★★★高校生活で育成すべき資質・能力を明確にしてカリキュラム・マネジメントを構築すること、「主体的・対話的で深い学び」による授業の研究・実践を積み重ねること。部活動が高校生活において重要な役割を果たしており、生徒の能力の伸長が図られることや進路選択に関わる場合があることなどを考慮することが必要であること、大学入学制度の変更にもなう課題について、情報の収集と共有に努めること等々考えさせられることの多い回答結果であったと思えます。改めて、ご協力いただいた方々に心よりお礼申し上げます。★★★